

シンポジウム

山口かんきつ



2026

日時

2026年2月14日[土] 13:00-16:30

場所

松陰神社 立志殿1階ホール

〒758-0011 山口県萩市椿東1537番地

参加費

無料・事前予約不要

山口かんきつシンポジウム 2026

山口県はカンキツ栽培が盛んで、山口を起源とする多数の柑橘類が知られています。特に、山口県の柑橘類は、歴史、文化、栽培、経済など多様な分野と密接に関係しており、豊かなカンキツ文化を形作ってきました。本シンポジウムは、山口のカンキツ文化の保存と発展を目指しています。

13:00 開会

挨拶 進士 正人（山口大学山口学研究センター センター長（山口大学特命理事・副学長））

13:05 本会の趣旨

「山口のカンキツの系譜と保存、文化のつながり」

柴田 勝（山口大学教育学部 教授）・森永 八江（山口大学教育学部 准教授）

13:15 山口のカンキツの現状とユズ

「山口をルーツとする無核ユズ『多田錦』の起源を求めて」

北島 宣（京都大学 名誉教授）

「山口オリジナルカンキツの育成方法」

岡崎 芳夫（山口県農林総合技術センター 農林業技術部 柑きつ振興センター 専門研究員）

（休憩）

14:05 山口かんきつの文化からみた日本・世界とのつながり

「唱歌における果実の諸相 ^{たじまもり} 一田道間守を中心とした考察」

白岩 洵（山口大学教育学部 講師）

「かんきつ類の英語名：言語学的な分析」

Senneck Andrew（山口大学教育学部 准教授）

14:40 「クネンボを求めて ― 探索と資料から」

五島 淑子（山口大学 名誉教授）

「南伊豆の九年母と食文化」

山本 はま子（サークルききがきや 代表）

「江戸時代初期のクネンボ史料」

樋口尚樹（松陰神社宝物殿至誠館 館長）

「萩博物館春期企画展「萩・夏みかんアドベンチャー」の裏話」

伊藤 靖子（萩博物館 統括学芸員）

15:45 総合討論とおしらせ

閉会

～16:30 展示物の観覧

主催 山口大学山口学研究センター

共催 山口大学グリーン社会推進研究会 教育開発推進部会

問合せ先 山口大学 柴田勝 shibata@yamaguchi-u.ac.jp, 五島淑子 goto@yamaguchi-u.ac.jp

本シンポジウムは、山口学研究プロジェクト2024年度「観光資源としての「山口の食」の開発とその社会実装」（代表 森朋也）および JSPS科研費22K02182の助成を受けたものです。